



非認知能力の育成は、愛の言葉のシャワーで

夏休みが終わり、二学期が始まりました。今年の夏は本当に暑かったですが、学校での様子を見てみると、子どもたちは暑さに負けず、とても元気です。始業式の時に、「非認知能力の4つの力の中から頑張ったことはどれか、二学期の終業式の時に、皆さんに尋ねます」と子どもたちに伝えました。勉強や行事、学級活動を通して、色々な経験をして、どんどん成長して行ってほしいと思います。

【非認知能力】

- 「やりぬく力」 → 「あきらめずに頑張る」
- 「自制心」 → 「計画的に行動できる」「よくないことは我慢できる」
- 「自己肯定感」 → 「自分を大切に思える」「自分には良いところがある」
- 「社会性」 → 「困っている人を助けた」「協力して活動した」

【保護者の皆様へのお願い】

お家で、「あきらめずに頑張る姿」や「よくないことを我慢した」「協力した」等、お子さんが上記のような行動をした時には、是非、**声をかけてほめてあげてください**。また、お家の方から「**あなたのことを大切に思っているからね**」と言ってもらえると、子どもたちの自己肯定感もぐんぐん育っていきます。非認知能力を育てていこうと思うと、子どもたちの頑張りも必要ですが、周りの大人からの「**愛の言葉のシャワー**」も必要となりますので、愛ある声かけのご協力をお願いします。

校内作品展 9月4日(水)～5日(木)

夏休みの自由研究等、子どもたちが頑張った作品を2日間多目的室で展示しました。自由研究に取り組む際には、「何をしたらよいの?」「どう進めたらよいの?」と難しく感じるかもしれませんが、自由研究を通して、好奇心や探究心が芽生えたり、思考力や表現力が養われたり、主体性が育ったりします。普段の学校生活でも、「なぜ?」と疑問を持ったら、自分で色々調べる習慣を身につけていってください。



9月4日(水)認知症サポーター養成講座(5年生)

鈴鹿市社会福祉協議会の方を講師に招いて、認知症について学びました。お年寄りの方とお話を聞くと、どのようにしてお話を聞くと、気分良くなってもらえるか等、実際の例を見ながら、学ぶことができました。

もし、いっしょに住んでいるおじいちゃん、おばあちゃんが、認知症になったら、手伝ったり、やさしく話しかけたりしてあげたいです。

認知症についてわかったし、困っている人がいたら、すぐに大人の人を呼んで助けたいと思いました。



9月6日(金)稲刈り(5年生)

春に植えた苗が夏休みを超えて、豊かな実をつけてきました。子どもたちは、慣れない鎌を使って稲を刈り、刈りとった稲を友だちに渡し、受け取ったらそれを縛る作業を協働で行いました。今後、米作りを通して、学んだことや調べたことをまとめて、発表する予定となっています。

やる前は、「難しそう」と思ったけど、やってみたら、そんなに難しくなく友だちと協力して稲刈りができて良かったです。

ボランティアさんが、「滑らすように切るといいよ」と声をかけてくれて、最初はあんまりだったけど、どんどん楽しくなってきました。



毎日稲の様子を帰り道に見ていたから、もうこんなに大きくなったんだなと思いました。

脱穀では、稲を入れたら稲の中の米がなくなっていて不思議に思いましたが、タンクの中に入っていることを知り、納得しました。

9月9日(月)避難訓練

今年度、2回目の避難訓練をしました。運動場に出てきて、並ぶ様子を見ていて、前回よりも静かに、スムーズに並べるようになりました。

《災害時の時に大切なこと》

- ①自助→ 自分で守ること
- ②共助→ 周りの人と助け合うこと

《今後の学校生活で頑張してほしいこと》

【1年生】自助

普段の学校生活の中で、自分でできることを増やしていきましょう。

【2年生～6年生】共助

先生に注意されたり、指示されたりしなくても、クラスの友達をよく見て、「何をすべきか」を、考えられるようになりましょう。

